

経営健全化方針に基づく取組状況（令和7年度）

○法人名：平郡航路有限会社

○経営健全化方針を策定した理由

- ・令和元年度及び令和 2 年度の決算において債務超過額が発生したため

○財政的リスクの状況

	令和元年度 決算 (H30.10.1 ～ R1.9.30)	令和2年度 決算 (R1.10.1 ～ R2.9.30)	令和3年度 決算 (R2.10.1 ～ R3.9.30)	令和4年度 決算 (R3.10.1 ～ R4.9.30)	令和5年度 決算 (R4.10.1 ～ R5.9.30)	令和6年度 決算 (R5.10.1 ～ R6.9.30)	令和10年度 決算 (目標達成 年度) (R3.10.1 ～ R4.9.30)
債務超過額 (千円)	2,269	2,064	13,602	13,283	10,044	23,865	令和元年度 より改善

※5年間で財政的リスクを解消できない理由及び改善方針

- ・コロナ渦で落ち込んだ利用客数が戻らない状況が長く続いており、令和5年度に改善の傾向が見られたものの、令和4年頃からの燃料費の高騰による経費の増大もあり、令和5年度までの債務超過解消に至らなかった。
 - ・令和6年度に平郡～柳井航路改善計画を策定。令和7年度から計画に則り、継続的に改善方策を実行する。

○主な取組状況（令和7年9月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・定時性を守った節約運航により燃料潤滑油費の節減に努めた。
 - ・検査ドック時の工事内容や使用部品等の精査により船舶修繕費の節減に努めた。
 - ・検査ドック時における塗装作業を船員、陸員により行うことにより船舶修繕費の節減に努めた。
 - ・船内食料制度の見直しを行い船員費の節減に努めた。(現物支給から食料金支給に統一)
 - ・柳井市が取組む公共交通の助成券事業に参加し、助成券の利用PRに努めた。

【地方公共団体による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・経営状況の把握に努め、事業収益の増収が見込める事業について必要な助言・指導を行った。

○法人の財務状況

(千円)

貸借対照表から	項目	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
	資産総額	41,445	42,054	41,982	45,347	48,295	52,655	51,849
	(現金・預貯金)	28,159	32,071	34,087	35,512	35,487	40,497	41,143
	(未収入金)	1,753	2,588	1,952	1,859	2,544	1,888	1,760
	(棚卸資産)	1,153	872	498	1,574	1,658	1,755	1,289
	(仮払金)	6	6	6	6	6	6	6
	(前払費用)	2,660	2,847	2,547	2,789	3,074	3,381	3,699
	(固定資産)	3,395	3,094	2,861	2,835	5,047	3,870	3,408
	(その他の資産)	4,317	597	30	38	36	36	36
	負債総額	36,672	44,322	44,046	58,949	61,578	62,699	75,714
	(短期借入金)	30,000	35,000	32,000	43,000	43,000	56,000	66,000
	(未払金)	4,269	3,966	3,667	4,420	4,100	4,624	4,756
	(前受金)	499	203	203	203	203	0	0
	(預り金)	630	822	787	881	773	796	609
	(固定負債)	1,274	4,331	7,388	10,445	13,502	1,279	4,349
	純資産額	4,773	△2,269	△2,064	△13,602	△13,283	△10,044	△23,865

損益計算書から	項目	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
	事業収益	117,431	119,857	117,191	109,111	128,794	141,457	122,281
	運行費用	111,613	107,561	97,653	102,275	110,391	118,577	115,908
	営業費用	17,428	19,338	18,758	18,374	18,084	19,640	20,194
	前期損益修正損	—	—	576	—	—	—	842
	当期純利益	△11,610	△7,041	204	△11,538	319	3,239	△13,821